TAIHEI 株式会社大平製作所
〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島4-2-24　TEL06(6473)1091(代)　FAX06(6473)5191
http://www.taihei-mfg.com　E-メール:mail@taihei-mfg.com

OMRS
マグネットセパレーター ラインマグ PAT
直角部をRにし雑菌繁殖を防止
水洗のとき直角部コーナーに気泡が発生し、完全に洗浄できない欠点がありましたが、マグネットケースの外周を溶接することによりRを形成し、洗浄時の液残りがなくなり雑菌繁殖を防止します。
■特徴
●希土類磁石と高透磁力材を使用した特殊形状ヨークの採用により、エレメント磁力は10,000ガウスをクリアー。
●マグネット棒に付着した鉄粉等はワンタッチクランプでユニット取り外し後クリーニングレバーを引き上げることにより簡単に掃除ができます。面倒な作業は不要で、水洗等で済ませることができます。
●本体の接液部は全てステンレスを使用しており、酸、塩分の浸食がありません。
■用途
食　品　●ハム、ソーセージ、味噌、製餡、乳製品等高粘度食品
●醤油、ソース、調味料、ジュース、乳飲料等低粘度食品
化　学　●医薬品、化学薬品
●インク、染料、顔料
その他　●切削加工機用切削油の二次処理
●油圧機作動油の混入鉄粉除去
●水質向上用鉄分除去
OMRS 株式会社大阪マグネットロール製作所
本　社　〒532-0021　大阪市淀川区田川北1－10－2（十三ビル）TEL(06)6309-2771　FAX(06)6308-3769
東京営業所　〒206-0025　東京都多摩市永山5－4－12　TEL(042)371-0900　FAX(042)371-0908
ホームページ　http://www.omrs.co.jp

大阪北部

主要企業トップが語る
わが社の

リーマン・ショックからの回復のめどが見え始めた矢先に、日本を襲った東日本大震災。幸い西日本は直接被害を免れたものの、部品・部材調達が寸断、厳しくなったというサプライチェーンマネジメントでの支障など、影響は少なくない。経営者は刻々と変化する環境に、自社の強みを活かし、的確な対応と決断を持って成長軌道を描いている。大阪北部に本拠を置く主要企業の経営者に「わが社の成長戦略」を語ってもらった。

鈴木油脂工業　鈴木 隆夫社長

独自商品で産業に貢献

わが社は、業務用手洗い洗剤を主力商品に、切削剤、防錆浸透剤などの化成品事業、香料や薬品などを内包できるマイクロカプセル（機能性無機質微粒子）事業を手がけている。とくに「アロエローヤル」「SYKローヤルエース」などクリーム状の手洗い洗剤は全国シェア70%で、工場や機械作業場で働くエンジニアの方から高い評価を頂いている。

各種製品は、大阪市東淀川区のほか大阪府摂津市、兵庫県西宮市などの生産拠点で製造している。2009年には、各拠点に常駐する事業トップが意見交換をしやすいよう、研究開発スペースを併せ持った新本社ビルを大阪市東淀川区に建設した。新本社工場の建設地は、30年前に火事で失われた旧本社の跡地であり、私としても懐かしさがひとしおである。気持ちを新たに仕事に取り組んでいる。

1950年に父・幸三郎が事業をスタートしてから、はや61年が経った。これもみな、わが社を支えて頂いた取引先のおかげだと思っている。今後も独自性が高い商品を開発し、日本の産業発展に貢献したいと考えている。

（大阪市東淀川区、06・6326・1118）

日下部機械　簑原 寛秀社長

インド市場開拓 力注ぐ

当社は発電所向けボイラ製造設備や建設機械製造設備など、重厚長大産業向けに商社として製品を供給すると同時に、エンジニアリングサービスを提供している。商社とメーカー、両方の側面を持つのが特徴であり強みだ。

エンジニアリング事業では機械の設計開発から製造ライン設計、設置工事まで一連で受託できる。自社で設計した機械は国内7社、中国4社の協力企業に委託して生産。中国では北京営業所の従業員が検査に当たり、高品質を確保した上で出荷している。

現在注力しているのはインド市場開拓。インドは発電所が建設ラッシュで、当社も得意分野であるボイラ関連製品を積極的に展開している。将来はインドでの製造パートナー企業開拓にも取り組みたい。

海外の製造業者と付き合う中、海外と国内のメーカーを比べると、国内メーカーの技術力、品質の高さなど魅力を再認識する。そこで、日本の技術力を生かせるような高度ロボット技術を活用した機械を開発中だ。日本製機械の展開を強化したいと考えている。

（大阪府豊中市、06・6866・1131）

北陽電機　尾崎 仁志社長

主力製品 内外で伸ばす

当社はオートメーション（FA）が一般的に普及する以前から自動制御を手がけ、測域センサーのトップメーカーとして各種ロボットやFA、インフラ、商業施設向けなどに事業拡大している。

中期計画では5年後の2016年度に現行約3倍の売上高100億円を目標に掲げ、主力の測域センサーなど国内外で販売を伸ばしていく。測域センサーは検出物の位置やサイズ、移動方向の確認などができ用途が広く、安心・安全ニーズも高まっている。屋外、安全、3Dをキーワードに製品ラインアップを充実させたい。また海外は韓国現地法人とアメリカでの技術サポートセンターを設立しており、新たな市場を狙い第3拠点進出を検討している。

一方、5月に完成、稼働した豊中事業所の測域センサーの生産能力は月1000台に対応し、5年後に同3000台まで増やす考えだ。50㍍の試験ラインを導入、長距離測定用の測域センサーの生産が可能になった。設備面は充実し今後はさらに開発に力を入れたい。

（大阪市中央区、06・6947・6334）

ホンマ・マシナリー　本間 義朗社長

オンリーワンを目指す

当社は発電機や舶用エンジンをはじめ、さまざまな大型製品の部品を加工できる超大型工作機械を製造している。部品を載せる加工テーブルのサイズが10㍍を超えるような超大型機を開発・生産できるのは、国内では当社しかない。かつてはライバルも存在したが、超大型機のみを一貫して造り続けてノウハウと競争力を磨き、勝ち残った。

顧客のグローバル生産の拡大に伴い海外からの受注も伸び、25カ国・500台以上を納めている。顧客ニーズを100%反映した完全なカスタムメード生産を貫き、「オンリー・ワン」企業を目標としている。

営業体制では、中国を中心とする海外からの受注を増やすため、5月に上海市に駐在員事務所を開設した。事務所を拠点に中国できめ細かく市場を調べ、需要をさらに掘り起こす。このほか、営業手法の標準化や原価管理の適正化、開発・生産とのスムーズな連携にも取り組み、経営体質の強化を図っている。製造現場でも後戻りのない緻密な生産、作業の平準化を進めており、経営とモノづくりを高めていく。

（大阪市淀川区、06・6309・8881）

明治機械製作所　廣田 貢社長

新興国や欧へ販路拡大

1924年に創業したわが社は、1936年に日本初の塗装機生産、1945年に空気圧縮機の生産を始めた。「空気と技術の融合」を合言葉にコンプレッサーや塗装機器、塗装設備などを手がける。経営理念として取引先に対する感謝の気持ちを忘れず、日々取り組んでいる。

売り上げの約半分を占めるコンプレッサーは、専業メーカーならではの高品質を自負している。一部製品では部品に鋳物を使うなど、コストダウンはしていないが維持管理費が安く済み、ライフサイクル（生涯）コストは抑えられる。40年前の製品の部品問い合わせも受けている。

ハンドスプレーガンなどの塗装機器は国内需要が伸び悩んでおり、今後は中国などの新興国やヨーロッパへ販路を拡大し、海外の要望に合わせた開発をする。「MADE IN JAPAN」を表側に刻印し、高品質を武器に安価な外国製との差別化を図っている。

震災で大きな被害は無かったが、危機管理の必要性を感じた。緊急時事業存続計画（BCP）の策定を前向きに検討している。

（大阪市淀川区、06・6309・1222）

山本水圧工業所　山本 知弘社長

拠点設け海外展開加速

高圧の冷水で鉄管や自動車部品などを成形するハイドロフォーミングマシン、金属パイプの耐圧試験機を中心に展開している。強みは総合力だ。単に設備を納めるだけではない。80年間、水圧機器の専門メーカーとして培ってきたノウハウと実験データを生かし、顧客視点に立って生産ラインを丸ごと供給している。

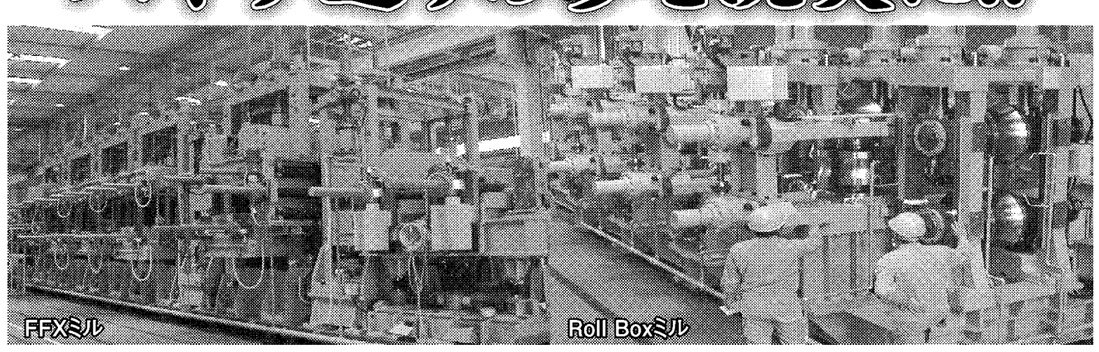
受注を継続するにはコストを下げないといけない。10年前から自社の生産部門を縮小し、国内の協力工場をはじめ、台湾や韓国、中国の生産委託先を開拓。従業員は開発や設計、試作に特化し、エンジニアリング会社へと脱皮した。その結果、現在では受注が減っても一定の利益が残せるようになってきた。

2010年度の売上高は19億円だったが、仮に売上高が13億円に落ち込んでも黒字化できる体質にしたい。

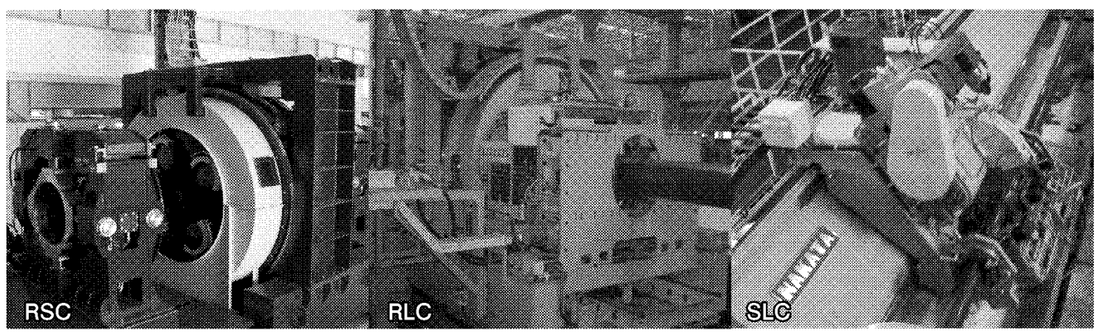
課題は海外展開だ。今後2－3年以内に中国や東南アジアにそれぞれ現地拠点を設ける。自前での海外生産も視野に入れて検討を進めていきたい。

（大阪府豊中市、06・6334・4651）

パイプ造りの夢を現実に!!



お蔭さまで"FFXミル"は最強のミルとの評価を頂き感謝しています!
そして角成形用の"ロールボックスミル"との組合せが好評です!!



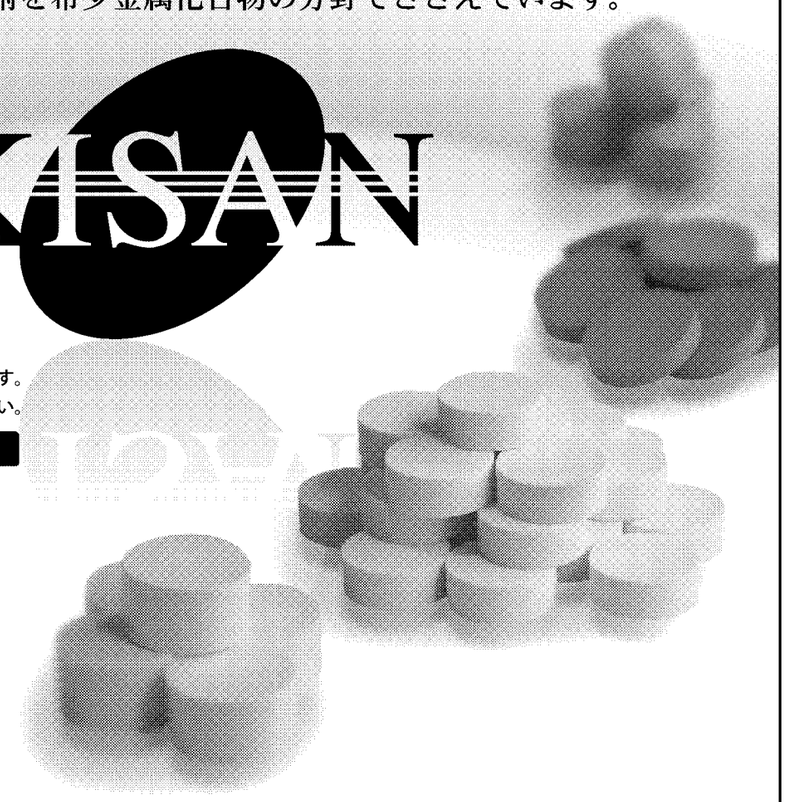
最強のツール/W-Cチップソーの走行切断機!!　適した走行切断機をご選定ください。
＊ミーリングタイプ　大径サイズ(20"　以上)は高性能4枚刃"RSC"
中径サイズ(5"　～20")は高性能2枚刃"RLC"
＊ストレートタイプ　小径サイズ(5"　以下)は高性能1枚刃"SLC"

より優れた設備を目指し中田は挑戦を続けています

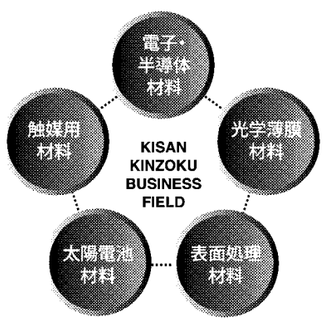
株式會社 中田製作所
E-mail:sales@nakata-mfg.co.jp
〒532-0027
大阪市淀川区田川3丁目7番6号
TEL.06-6303-1900　FAX.06-6303-1905

地球の未来を決めるもの。
稀産金属は、先進技術を希少金属化合物の分野でささえています。

KISAN



テルル、リチウム、インジウム、ガリウム、
タングステンなど、37種類のレアメタルから、
数百種類にのぼる高純度金属化合物を製造しています。
新たな製品開発、用途開発は、下記にお問合せください。
TEL.06-6473-5227（営業部）



稀産金属株式会社
大阪本社・工場　〒555-0041 大阪市西淀川区中島2-13-57 Tel.06-6473-5227(代)　Fax.06-6473-4174 E-mail:info@kisan.ne.jp
東京営業所　〒103-0027 東京都中央区日本橋2-1-1 櫻正宗ビル4F Tel.03-3516-7533(代)　Fax.03-3516-7541
Manufacturer of Speciality Chemicals and Rare Metal compounds　http://www.kisan.ne.jp